

キャリアデザインの受講にあたって

- (1) 地元の学生である我々の「技術」と「発想」を活用して調布市に貢献できないか・・・
- (2) 学外で“ものごと”を展開する際に発生する様々な課題やその解決方法等を実際に体験することにより今後の学生生活に活かさないか・・・

この二点を考えた。

プロジェクトテーマを決める際に、以下のようなポイントが議論された。

- ・調布市の活気のなさ
- ・電通大の知名度の低さ
- ・調布市地域発展事業とその影響力の低さ

これらを踏まえて、地元学生ならではの「技術」、「発想」をもって調布市の活性化に一役買うことにした。

【活動テーマ】

地元学生による調布市域活性化支援

我々の活性化とは具体的に以下のようなこととした。

I:調布市域に出入りする人が増加する

II:調布市域で時間を費やす人が増加する

☆現状は、電車、バスの乗り換えのみで調布市を通過する人が多い
といったことが挙げられる。

技術的には本学の U.E.Cast が既に免許を取得しているエリア ワンセグ放送システムを基本とすることにした。

<U.E.Cast とは>

昨年のキャリアデザインにおいて創設されたプロジェクト。

エリアワンセグ実証実験の免許を総務省から受けており、8月に行われたキンダーフィルムフェスティバルというイベントにおいても放送局を構えて活動している。

このプロジェクトと協力することで調布市の活性化に貢献できると考えた。

地域活性化をワンセグで行うという実証実験は現在、ホワイトスペース特区で行われている。しかしそのほとんどは送信実験がメインに終わってしまっている。

例えば、ワンセグ放送とデジタルサイネージとの連携、

「実際にコンテンツとして地域活性化のために何を発信するのか？」

また、調布にある大学として地元のできることを考えた際に、以下のようなこれらの機関と協力することで我々のチームにはなかった視点から地域活性化をもっと大きな規模進めることができるのではないかと考え、協力を依頼した。

協力機関

I：調布市内及び近郊の大学

II：調布市役所

III：民間企業及び近隣住民

IV：協力企業,その他

Iについては夏休み中にコンタクトを図り、前向きな回答が得られており、IIとIVにおいても、昨年度のキャリアデザインから連携ができています。

また、同じくキャリアデザインCの「UEC PR TEAM」とも連携を図っていく。

その地域でものごとを展開する過程において、必要となる様々な手続き、企画、資料作り、など以下に上げることを体験し、今後のキャリアにもつなげていくことができる。

【ステップ1】：「できること」、「できないこと」の仕分け

- 技術的支援 ハードウェア、ソフトウェア、他
- 運用面の支援 アイデア提供、広報活動等

【ステップ2】：地元学生の視点からの「発想」、「意見（要望）」等を整理し、企画・提案書を作成する。

★ 他大学、地域の事例も参考に企画・提案を考える

① 電通大単独

② 調布市域および近郊大学との大学連携

「声かけの仕方(手順)」、

「調整方法」や自分達の考え方の伝え方
説得の仕方（プレゼン能力）
プロジェクトの進め方
企画提案書作成技術

【ステップ3】：市あるいは関係機関に企画・提案を聞き入れて貰い、協力して貰う。

【ステップ4】：企画書に基づいた(実験的な)計画を実施する。

【ステップ5】：課題を発見、整理し、その解決策をまとめる。

今後に活かすべく報告書の作成

- (1) 技術的な課題 システム、ハードウェア、
ソフトウェア、設置・工事、他
- (2) 運用面の課題 内容（企画）、実施場所、対象者、
安全性、コスト他
- (3) 具体的な解決策
- (4) 実施経験で得たノウハウ

これまでの活動記録

(1) 【ステップ1】～【ステップ2の①】～【ステップ3】までの実施
電通大単独としての提案活動を実施した。

- 提案先 : (株)東京スタジアム 【対象施設】: 味の素スタジアム
- 提案概要: エリアワンセグ実験放送システムを活用した地域活性化
- 提案過程: ① 自分達の提案内容を調布市役所(産業振興課、情報管理課)
に説明
② 市に対し、(株)東京スタジアムの窓口紹介を依頼
③ (株)東京スタジアム(総務課)への提案説明、および
協力依頼を実施 9月9日
- 結果 : (株)東京スタジアムとしては、この様な提案あるいは
学生教育の一環としての協力等に対し係わることができない
という回答を得た。
- ★ そもそも、この様な提案を(株)東京スタジアムに直接持ち込むのは筋違い
との見解。事業環境が複雑である。
- 今後の展開: 体制を強化した上で、再度チャレンジする。
【ステップ2の②】の実施

□ 提案内容： エリアワンセグ放送により、

① 味の素スタジアムにおける

- 観客数の増員
- リピータ客の増員
- 施設内店舗の売り上げ増加
- 味の素スタジアムの知名度向上
- 観客の安心・安全の向上

① - 1 味の素スタジアムへのアクセスに利用される

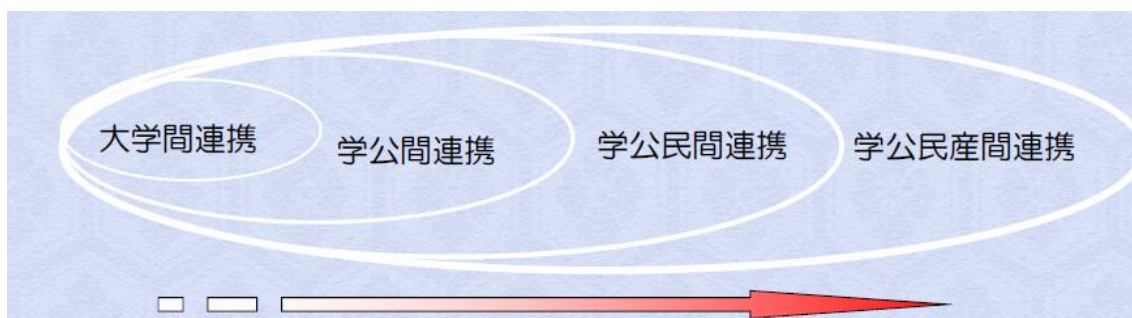
駅周辺の商店街の活性化！！

- 飛田給駅（京王線）
- 調布駅（京王線）

① - 2 京王線利用客の増加！！

具体的な運用の仕組み、放送コンテンツ等に関しては協力会社、関係機関等と協議して決定する。

(2) 電通大単独としての提案活動の反省・経験を踏まえ、「大学間連携」、
「地域連携」の仕組み作り、協力体制作りに取りかかった。



<連携イメージ>

【交渉中の大学】： 白百合女子大学、

■ 白百合女子大学： 事務局長に主旨説明、協力依頼済み（9 / 15）

（ア）調布市域内の大学である。







（イ）放送研究会があり、調布FM放送で番組を持っている。

（ウ）文系の女子大であり、電通大とは全く真逆の視点での発想が期待できる。

■ 東京工科大学： 教授に主旨説明、協力依頼済みであり基本的な合意は
取れている。（8 / 23）

- (ア) 近郊地域の大学であり、メディア学部がある。
- (イ) メディア関係の設備が充実していて、メディアに強い学生が多い。
- (ウ) 大学として、メディアを活用した地域貢献に関心が高く、実績もある。
..... 三鷹市のエリアワンセグ実証実験にも参画
- (エ) 学生達で授業の一環として、インターネット放送局 (intebro) を
運用している。

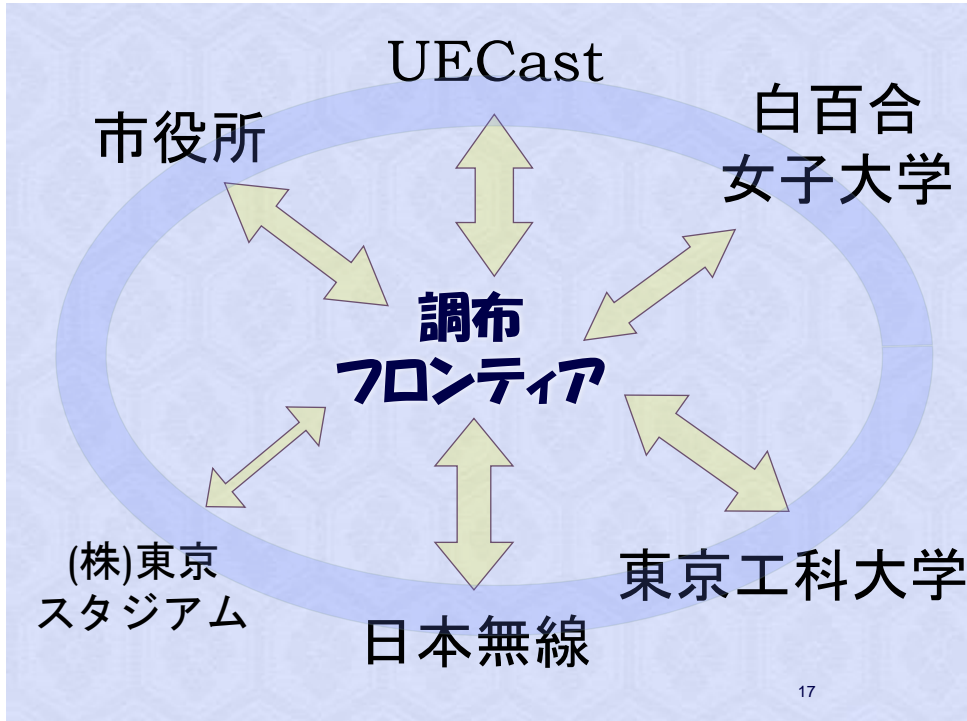
今後の活動計画

	平成23年					平成24年
	~08月	09月	10月	11月	12月	01月
【ステップ1】						
【ステップ2】 ■ 大学間連携の構築 ■ 企画・提案書作成、他						
【ステップ3】 ■ 市との調整、他 ■ 関係機関との調整、他						
【ステップ4】 ■ 実証実験の準備、実施 ■ 各種課題の整理、他						
【ステップ5】 ■ 報告書のまとめ、他						
最終報告会						

<最後に>

今年度一年間だけでは到底このプロジェクトの想定しているゴールに辿り着くことはできない。

ある程度の規模までチームが成長し、実験を行えると判断した場合、実証実験の計画、実行、評価をワンセグを用いて出来たら良いと考えている。



<ステークホルダー図>

<附属資料>

他大学、地域の事例（エリアワンセグ関連）

（1）信州大学（松本）

【総務省：ホワイトスペース特区指定】：H23年度

（株）松本ケーブルテレビと共同で、キャンパスへの緊急情報通報にエリアワンセグを活用

URL: http://www.soumu.go.jp/main_content/00012932.pdf

（2）専修大学、明治大学、日本女子大、多摩区の連携（専修大学生田キャンパス）

【総務省：ホワイトスペース特区指定】：H23年度

多摩区地域向けに、「生田キャンパス・コミュニティ放送局」を年内に設置する予定

URL: http://www.soumu.go.jp/main_content/000102329.pdf

（3）筑波大

聴覚障害者向けの情報保証サービスの提供

URL: http://www.soumu.go.jp/main_content/000102326.pdf

他団体への訪問記録

（1）東京工科大学

1 日 時： 2011年8月23日 15時～17時

2 場 所： 東京工科大学（八王子キャンパス）

3 参加者： 【東京工科大学】

◇ メディア学部 次世代ブロードキャスト研究室：佐々木教授

◇ 学生放送局インターネット放送局 *intebro*代表 成田さん

【電気通信大学】

◇ キャリアデザインC Bチーム（学外）

4 議事概要

（1）CDC-Bチームで作成した「ワンセグ放送による調布市の活性化」に関する企画書を説明

（2）H21～H22年に東京工科大学が参画した三鷹市でのワンセグ実証実験及び、*intebro*（東京工科大学が自主運営しているインターネット放送局）の活動内容などの意見交換

(3) 東京工科大学の基本的なスタンスとしては、大学間連携を図り今回のプロジェクトに協力して貰えそうである。

改めて、実施形態が固まったところで、正式に依頼する。

(4) メディア学部の放送施設見学

(2) 白百合女子大学

1 日 時： 2011年9月15日 10時～11時

2 場 所： 白百合女子大学（調布市仙川キャンパス）

3 参加者： 【白百合女子大学】

◇ 上西事務局長

【電気通信大学】

◇ キャリアデザインC Bチーム（学外）

4 議事概要

(1) 電通大学におけるキャリアデザインカリキュラムの説明

(2) CDC-Bチームで作成した「ワンセグ放送による調布市の活性化」に関する企画案を説明、および協力依頼

(3) 現在、白百合女子大学は夏休み中であり、即答はできないが、白百合大学も調布市と協力協定を結んでいる。

(4) 学内に「放送研究会」があり、調布コミュニティ放送で番組も持っている。そのメンバーに声を掛けてみる。

恐らく、そのメンバー達は興味を持つのではないかと思う。

(5) 9月中末までに大筋の回答をする。

(1) (株)東京スタジアム<味の素スタジアム> ★ 調布市役所からの紹介

1 日 時： 2011年9月9日 14時～15時

2 場 所： 味の素スタジアム：事務所

3 参加者： 【(株)東京スタジアム】

◇ 総務部総務課課長代理：竹内純子氏、岩村英和氏

【電気通信大学】

◇ 永岡氏(非常勤講師)

4 議事概要

(1) 電気通信大学におけるキャリアデザインカリキュラムの説明

(2) CDC-Bチームで作成した「味の素スタジアム向け企画案」を説明、および協力依頼

(3) (株)東京スタジアムは「味の素スタジオ」を様々な業者(スポーツ関係、音楽関係、その他)に貸して出すことにより事業をしている。

従って、観客増員等の目的での企画・提案は、「味スタ」で興業をする側で判断するものであり、(株)東京スタジアムとしては関与出来ない。

- (4) H25年に「国体」も控えており、「味スタ」の改装等で余裕もない。
- (5) 興業会社への紹介に関しても、(株)東京スタジアムの立場では難しい。